

羽根学区防災防犯協会連合会（愛知県）

活動地域

羽根学区防災防犯協会連合会会長の宮地と申します。まず、私たちの住む岡崎市および羽根学区の概要について説明をさせていただきます。

私たちの住む岡崎市は愛知県の中央部にある、人口約38万人の西三河を代表する都市です。徳川家康公誕生の地として知られています。最近では八丁味噌も有名になってきました、



私たちの羽根学区とは、岡崎市の南部地域にあり、羽根小学校に通学している区域のことです。岡崎市は47の小学校がありまして、その小学校のうちのひとつです。人口は1万2,247人、世帯数は4,816世帯あります。

学区にはJRの駅があり、税務署、法務局、ハローワークなど国の出先機関が入居している合同庁舎があります。西三河最大の大型ショッピングモールや大手スーパーがあります。東三河方面や尾張方面からも人がたくさん来て、非常ににぎやかな町になってきました。このように、私たちの学区は公共施設や大型商業施設があり、生活環境が比較的整った便利な住みやすい町だと思います。

その反面、いろいろな人が集まる施設がありますので、いつも警察の方から指摘されるのですが、岡崎市内47小学校区の中で最も犯罪の多い学区だということです。少しでもこれを減らしたいということが学区の使命ということで、岡崎市および岡崎警察署の協力をいただきまして、学校の先生方、PTA役員、民生委員等の皆さんと連携しながら学区一丸となって、安全安心活動を実施しています。

団体の概要

私たちの団体は昭和23年に町内会長を中心に結成されました。岡崎市では町内会長のことを総代と言っています。町内の町総代ということで始まりました。

当初は、防犯パトロールや防災防犯に関する啓もう活動を実施してきましたが、だんだんと人が増えてきて、平成18年に、「地域の安全は地域住民の手で」を合言葉に、子供たちが安心して通学できるよう「羽根っ子みまもり隊」、羽根っ子とは、羽根小学校の子供たちのことですが、羽根っ子みまもり隊を結成、平成19年に

団体の概要

- ・羽根学区防災防犯協会連合会
… 昭和23年設立（約20名）
- ・羽根っ子みまもり隊
… 平成18年4月結成（隊員数 約238名）
- ・青色防犯パトロール隊
… 平成19年1月結成（車両台数8台、隊員数36名）

は「青色防犯パトロール隊」を結成しました。

現在、みまもり隊員は 238 人で、青パト隊の登録車両台数は 8 台、隊員は 36 人です。みまもり隊の人数が多く感じられるかもしれませんが、自転車の前かごにプレートを取り付けたり、外出の際に小学生を見守ろうかなという方も含めて登録されております。ですから、実際に毎日のように活動してくださる方は、50 人から 80 人くらいかなと思っています。

活動の概要

羽根っ子みまもり隊は、羽根小学校の児童の登校や下校に付き添ったり、通学路の交差点などの危険箇所立って、交通事故や犯罪防止の声掛けを行っています。右の写真の男性は、登校時 1 回と、下校時は低学年と高学年の下校時間に 2 回立って、1 日 3 回の見守り活動を毎日してもらっている有名な方です。本当に前向きに協力していただき、頭がさがる活動をしていただいております。

青色防犯パトロール隊は、学区を 3 地区に分け、各 1 台ずつの 3 台の青パトが、下校時間に合わせ曜日を決めて、巡回しています。出発時の写真ですが、青色防犯パトロール隊は夜間のパトロールも時期を見て実施しています。岡崎市全体では 325 台登録されているそうです。

学区内には県立の工業高校があります。その生徒と一緒に児童の登校、下校時見守り活動を実施しています。朝のクラブ活動に支障のない範囲でお願いしています。当初は生徒会役員と野球部の生徒がジャージ姿で小学生の見守り活動をしていましたが、今では学校が専用のベストを作ってくれましたので、ベストを着用して活動しています。学校周辺の 4、5カ所で 20 人から 30 人の生徒が参加しています。

「羽根っ子みまもり隊」による活動②



青色防犯パトロール隊

登録車両台数: 8 台
乗車登録人数: 36 名



地元高校生との
合同見守り活動②

受講者を高齢者や女性に限定した講習会を開催しています。講師は警察署生活安全課や交通課にお願いし、防犯講習や交通教室を開きます。実技を取り入れた講習をしているのが特徴で、大変好評です。

高齢者対象の防犯教室では、警察署の中庭でバイクによるひったくりを実演しました。ひったくりをする犯人や被害者などを警官の方が実演し、簡単にひったかれるということを感じました。

女性対象の防犯教室では、痴漢を撃退する心得についての講義をしていただいたうえで、護身術の実技を修得しました。育児中の母親を対象にした防犯教室では、誘拐目的の幼児連れ去り防止対策などについて講義をしてもらいました。母親たちはお子さん連れで参加しました。

学区内のほかの団体と連携して、合同で実施する防犯活動もあります。

学校の夏休み、冬休み期間中の2回くらい、学区の社教委員、民生委員に呼びかけ、合同のパトロールをしており、JR岡崎駅構内や公園を夜間巡回します。また、小学校の先生、PTA役員、民生委員とも合同で「愛のパトロール」を年2回しておりまして、大手スーパー内の本屋さんや公園をパトロールしています。中学校には「おやじの会」という保護者の団体があり、われわれも参加して大きな商業施設内のゲームコーナーなどでパトロールをしています。

次に、防犯カメラの設置について説明します。先ほどの地域紹介でもお話しましたように、非常に犯罪の多い学区ということで、岡崎市に対しJRの駐輪場に防犯カメラを設置するよう要望し、設置していただきました。

われわれは「防犯カメラ設置場所」という看板を立てまして、犯罪抑止効果が上がるよう



にサポートしました。すぐには効果は出ないかもしれませんが、ワースト・ワンはいまだ返上できていませんが、発生件数は確実に減少してきています。それなりの効果はあるのではないかと考えています。



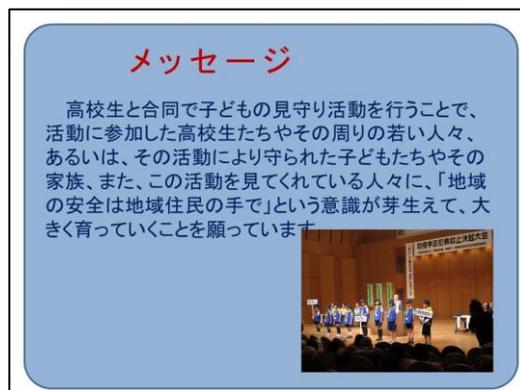
小学校の学期末にある通学団単位の一斉下校の前の全校集会では、見守り活動に特に貢献された隊員を表彰しております。また、感謝の会というものがあ、毎年3学期に小学校の体育館において「交通指導員さん、みまもり隊員さん、感謝の会」を開催されます。小学生一人ひとりが感謝の気持ちをつづった手紙を、みまもり隊員の全員に手渡ししてくれます。このように、みまもり隊と子供たちの交流の場を持っております。



感謝の会には、児童から募集した交通安全標語の優秀作品の発表と表彰を行っています。この時の最優秀賞は「危ないじゃん、ノーヘルだらあ、はよかぶりん」と三河弁の標語が最優秀に選ばれました。

私たちの活動を広く知ってもらうため、学区福祉委員会の協力で、行事の案内などをホームページに載せていただいております。ホームページのほかに「福祉だより」が年4回発行され、そこでも同じように防犯活動の行事を掲載していただいております。

最後になりましたが、高校生と合同で小学生の見守り活動を行っていますが、高校生もこれまでは見守られる側だったのが、今後は自分たちが見守る側に立場が変わるわけです。本当に自主的に高校生に見回り活動をしてもらっていますが、その活動を見ている周囲の高校生にも活動がどんどん広がり「地域の安全は地域住民の手で」という意識が浸透してほしいと願っています。ご清聴ありがとうございました。



質疑応答

●質問 防犯カメラの設置促進というところで、岡崎市に働きかけて駐輪場に防犯カメラを設置されたということですが、防犯カメラについては、プライバシーなどの関係で消極的な意見もあります。私が活動している学区内の県道においても設置を促したいと思うので、ぜひ参考にしたいと思いますので、その辺の経過を教えていただければ幸いです。

○回答 JRの駅前、東側と西側に駐輪場があるのですが、特に東側の羽根学区側は、去年県下でもワースト2位の、自転車盗被害の件数が多かった駐輪場です。これまで被害件数が非常に多かったため、駐輪場を直して一部2階建てにしたり、パトロールをするときには必ずその駐輪場に寄ったりというようなことをしましたが、一向に件数が減らなかった。何とか1件でも減らせないのだろうかということで、たまたま岡崎市に防犯カメラ設置のお話をしました。プライバシーの関係で難しいということも聞きましたが、場所が場所ですので、今のところ苦情を聞いたことはありません。幸いなことに件数は減りました。だから一定の効果はあったと思います。

カメラの運用の仕方も、ビデオテープで撮っておりますが、警察等にどうしても見せてほしいと言われるときに限定して、警察などに限って資料提供していくということを決めて記録した画像の取り扱いも厳格にやっております。そういうことを含め、苦情も出ず、今のところ穏便に運用されているし、効果もあがっています。